

えいらい

No.46

令和3年1月発行
発行元／一般財団法人永頼会 松山市民病院

新年号
2021



〒790-0067 愛媛県松山市大手町2丁目6-5 TEL / 089-943-1151 FAX / 089-947-0026
発行責任者／理事長 山本祐司 編集／松山市民病院広報委員会

地域に根ざした医療 —新しい時代の病院へ—



院長 柚木 茂

2021年(令和3年)、丑年の新春のお慶びを申し上げます。松山市民病院と連携、交流をいただいている医療機関・施設と地域の皆様には日頃よりご支援をいただき心から感謝いたします。

昨年の初めは、東京オリンピックの開催に向けて、日本中が華やかな気持ちにあふれていました。ところが春頃より新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、東京オリンピックが延期となり、感染者数は増加の一途をたどり、多くの方が犠牲になる想像もしていなかった年になりました。今も闘病されている皆様の一刻も早い回復を祈念いたします。

政治の動きとしては、安部首相の急な退陣により、9月に菅内閣が発足し、新型コロナウイルス対策と経済の両立はもちろんのこと、デジタル庁の設置、不妊治療の保険適用、グリーン社会の実現等「国民のために働く内閣」を基本方針に掲げました。

アメリカでは11月に大統領選挙が行われ、バイデン次期大統領が選出されました。この原稿を執筆している現時点では、アメリカの新たな新型コロナウイルス感染者数は連日10万人を超えており、アメリカも困難な状況が続きそうです。

松山市民病院では昨年「令和新時代とともに歩む医療—キーワードは治す・支える・癒やす・活かす—」を掲げ、色々な改革に取り組みました。2月より独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA)から小規模病床(5床)を運営

委託され、対象患者さんは治療により意識障害の改善を認めつつあり、チーム医療の成果を実感しました。インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念される今冬を迎え、11月末には医療用テントを購入し、発熱患者と一般患者が交わらない感染症対策を行い、救急輪番病院の責務を果たせるよう取り組んでいます。12月には病棟削減により看護職員と診療科の再配置にも取り組みました。関係職員の理解・協力を感謝します。

今年のスローガンは「地域に根ざした医療—新しい時代の病院へ—」です。新年を迎え、新しい時代の病院として、デジタル化と院内の改革が必要と思います。デジタル化を推進することで、患者さんの今まで以上の情報を他の基幹病院や医療機関と共有し、前方後方連携を密にし、患者さんに寄りそう信頼される診療をしていくことで、地域により深く根ざした病院となっていきたいと考えています。

「丑」年は生命が十分に伸びきっていない状態で後半に成長する年といわれています。「丑」で思いつくのは、高村光太郎の「牛」という115行の自由律詩です。「牛はのろのろ歩く 牛は大地をふみしめて歩く 牛は平凡な大地を歩く」と着実に前に進んでゆく愚鈍な牛が力強く表現されています。小さな改革を確実に進めていくことで、松山市民病院が新しい年に、地域の皆様に幸福と繁栄をもたらすことを祈念しまして新年のご挨拶とさせていただきます。